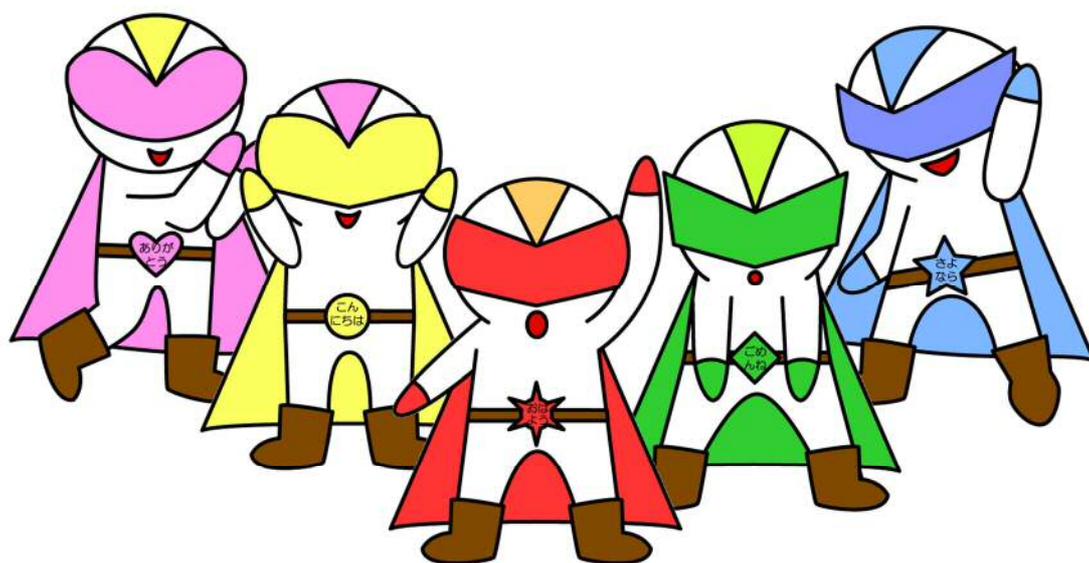


平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果



令和元年 12 月

海老名市立有馬小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学, 英語)
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 選択肢のある問題では、正しい答えを見つけることができる。

◆課題のある点

- 問題を最後までやり終えること（読んだり、解いたりするのに時間がかかる。）
- 画数が多い漢字（同音異義語）
- 記述式の問題で、自分の考えをまとめて書くこと
- ことわざなどの語彙の蓄えの少なさ

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章の内容を的確にとらえるようにしていく。そのために、今後も本校での研究“言葉への関心を高め、基礎・基本の定着をめざした指導～「読むこと」の学習を通して～”と関連づけながら、授業の工夫をしていく。
- 自分の考えを文や文章に表す活動を継続的に行う。
- 朝の読書タイムを今後も充実させるとともに、辞書を用いて意味調べをしたり、語彙力カルタを使ったりして、語彙を増やしていく。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができている。
- 示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できている。
- 答えが選択式になっている問題では、無解答率が比較的小さい。

◆課題のある点

- 台形についての理解や、加法と乗法の混合した整数と小数の計算
- 記述式の問題

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章問題の文意を理解したり、問われていることに対して適切に答えたりする力を付けていく。そのために、今後も本校での研究 “言葉への関心を高め、基礎・基本の定着をめざした指導～「読むこと」の学習を通して～” と関連づけながら、授業の工夫をしていく。
- 学年や単元によって、TT(ティームティーチング)や、少人数指導を行い、個々の学力や学習方の特性に合わせて理解が進むようにしていく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- ICT を取り上げた授業を実践している。
- 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- 問題に対して、粘り強く取り組むことができる。
- 算数の授業で、公式やきまりを学習するとき、そのわけを理解しようとしている。
- 国語・算数の勉強を大切だと思っている。

◆本校の課題と思われるところ

- 問われていることを理解する力
- 読書をする習慣
- 授業で学んだことを、普段の生活で生かすこと

生活について

◆本校のよかったところ

- 自己肯定感が高い。
- 学校が楽しいと思っている。
- 朝食を毎日食べている。
- 物事を最後までやり遂げることのよさを感じている。

◆本校の課題と思われるところ

- 学校のきまりを守って生活すること
- 就寝時刻が遅いこと
- 家庭学習の時間が少ないこと
- 地域の行事への参加率が低いこと

今後の具体的な取組について

- 指導法を工夫・改善して基礎的内容の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びに繋がる授業作りに励む。
- 授業で学んだことを生活に生かしていけるような環境づくりに努める。
- 普段の生活指導や家庭との連携などを通して、基本的な生活習慣の改善に繋げていく。
- 道徳の授業や普段の学校生活の中で、きまりを守ることの大切さに気付かせていく。
- 家庭や地域との連携・協力を大切に考え、ともに子どもたちを育てていく学校づくりに努める。

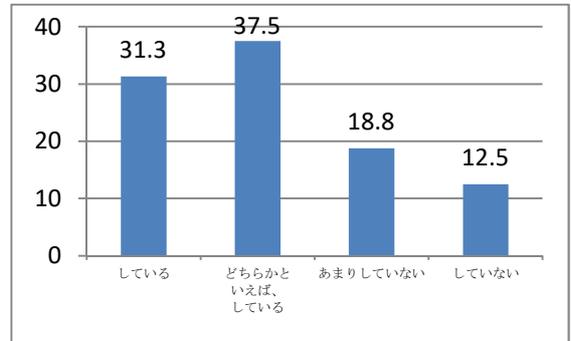
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

早寝・早起き・朝ごはんを続けていきましょう。

基本的な生活習慣を身につけることは、学習面に良い影響を与えます。

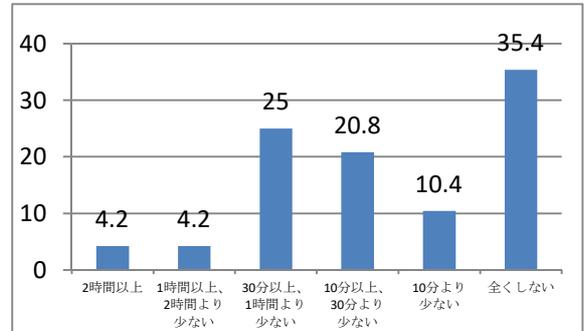


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2

本を読みましょう。

読書は、語彙を増やし、豊かな想像力・表現力を育みます。読書をする時間を増やしましょう。

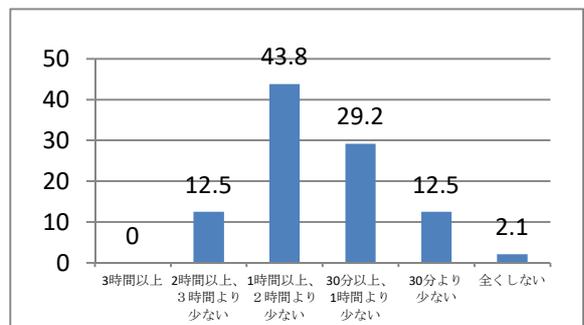


普段、1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

3

家庭学習に継続して取り組み、よりよい学習習慣を身につけましょう。

学習内容の定着を図るためには、家庭における学習も必要です。見守りや励ましを続けましょう。

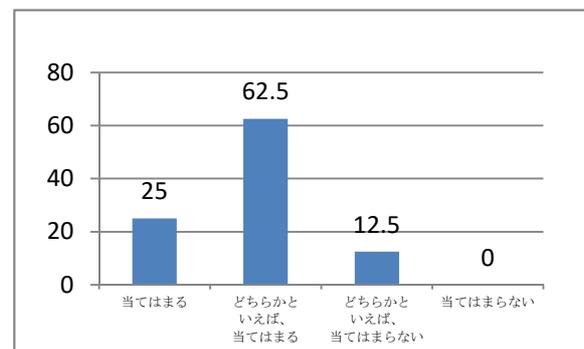


普段、1日当たりどのくらいの時間、学校以外で勉強をしますか。

4

みんなでよりよい生活をするためのきまりを守りましょう。

いじめは絶対にしてはならないことも含め、学校や世の中のきまりを知り、なぜ守らなくてはならないのかを考える場を持ちましょう。



学校のきまりを守っていますか。

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係



令和元年 12 月